

フランクフルト日本人国際学校・音楽科通信

♪ ぽこ あ ぽこ ♪

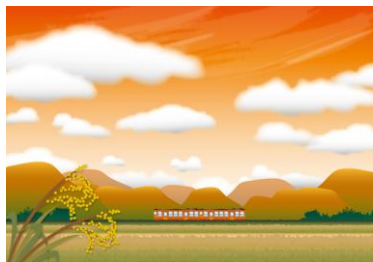
♪ 2023年度 *poco a poco* ♪

Nr. 11 2023年9月6日(水)

文責:プファイル・辰巳

## 過行く夏 ~ 初秋の足音

畑に Strohhallen (麦わらの大きなロール) がゴロゴロ転がされているのを見ると、「ああ、もう秋だなあ。」と感じます。夜明けの時刻が遅くなり、日暮れの時刻はぐっと早まってきました。冬時間になるのは秋休み後ですが、ちよっぴり寂しい気持ちになる今日この頃。今のうちにお日様の光をたっぷり浴びて、冬の寒さに負けないうエネギーを蓄えておきましょうね。しばらくはお天気も良いようです。



## <音楽こぼれ話 音楽の中で活躍する動物たち ⑧ 馬>

乗馬や競馬などで障害物を飛び越えたり、疾走したりする馬の姿は美しいですね。特に馬の蹄によるリズムカルな足音は、とても音楽的です。作曲家たちもこの馬の蹄の音をイメージしたリズムや旋律を、曲の中で表現しています。

たとえばシューベルト作曲の歌曲「魔王」。全曲を通じて左手のオクターヴで連打される3連符は、夜道を疾走する馬の足音を表現しています。

また運動会の徒競走用 BGM 定番の「クシコス・ポスト」。原題はハンガリー語に由来するようですが、「郵便馬車」の意味があります。作曲したのはドイツ人のネッケという作曲家です。

運動会の BGM 定番としては、ロシア人作曲家カバレフスキーの「ギャロップ」という曲もあります。これは組曲「道化師」の中の第2曲です。ギャロップとは馬術では最も速い走り方を表す言葉だそうです。

19世紀にはこの馬術のギャロップにちなんだ輪舞が流行したそうです。これは男女2人で一組になり、輪になって踊るのですが、躍動的な速いステップと跳躍の動作

が入る、スピード感のある輪舞です。結婚式の祝いの席などで、宴が最高潮に盛り上がったところで、踊り手たちも大興奮して踊るのだそうです。

運動会 BGM 定番の3曲目は、イタリア人作曲家ロッシーニの作品「ウィリアム・テル序曲」です。オペラの序曲として作曲されたのですが、中でも第4部のスイス軍行進の場面が有名です。金管楽器による晴れやかなファンファーレの後、スイス軍の騎馬隊が軽やかに行進する様子が表現されています。



「クシコス・ポスト」「ギャロップ」「ウィリアム・テル序曲」の3曲は、どれを聞いてみても「ああ、この曲ね。」と、日本人なら即、運動会を思い浮かべる音楽です。

馬にちなんだ音楽として、最後に紹介しておきたいのは、フランス人作曲家ビゼーの組曲「アルルの女」の第2組曲の第4曲「ファランドール」です。ファランドールとは8分の6拍子のフランス(プロヴァンス地方)の踊りの名称ですが、ビゼーの曲では、王様の行進と馬のダンスの二つの旋律が、交互に演奏されます。この曲も大変有名で、コンサートのアンコール曲としてもしばしば演奏されます。

このように、優雅で躍動的な馬の姿や足音は、たくさんの音楽の中に取り入れられています。私の今回のお勧めの演奏は、マリンバ四重奏によるカバレフスキーのギャロップの演奏です。日本人マリンバ奏者の富田真以子さん他3名の演奏は、見ていても楽しくなるパフォーマンスです。Youtube で検索してみてください。

## ちょっとだけ 演奏会情報

11月7日(火) アルテオーパー 大ホールにて  
20時から ベルリン・フィルハーモニー・オーケストラの演奏  
Kirill Petrenko の指揮  
M.レーガー、R.シュトラウスの作品

11月12日(日) アルテオーパー・大ホールにて  
19時から エルプ・フィルハーモニー・オーケストラの演奏  
Alan Gilbert の指揮、Joshua Bell のヴァイオリン  
チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲 ほか